

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
1	神奈川大学	地元商店街・学校・町内会との連携	学園祭(神大フェスタ)の地域密着企画「のぞいてみよう、私たちのまち」 「ジンダイグルメ」への参加	六角橋商店街 近隣町内会 市内小学校	令和3年9月～10月	平成11年度
2	神奈川大学	桜木町駅前広場の賑わいづくりを目的とする桜木町駅前広場活性化委員会との連携	北仲フェスと同時開催された駅前演奏会への参加	一般社団法人横浜みなとみらい21	令和3年11月	令和3年度
3	神奈川大学	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会への加盟	横浜および周辺地域に活動拠点を置き、各種事業を通し国際協力、国際交流、多文化共生を推進	・(特活)横浜NGOネットワーク ・公益財団法人 横浜市国際交流協会 ・JICA横浜 ・横浜市国際局	通年	平成30年度
4	神奈川大学	SDGsよこはまCITYー国際協力・多文化共生からのアプローチ	主催構成団体のひとつとして運営を行い、本学からは国際学生寮「栗田谷アカデミア」入寮学生4団体と2018年度卒業生を講演者として派遣	・(特活)横浜NGOネットワーク ・公益財団法人 横浜市国際交流協会 ・JICA横浜 ・横浜市国際局	令和4年2月	令和元年度
5	神奈川大学	中学生の職場体験	大学キャンパスへの職場見学、インタビュー	横浜創英中学校	令和3年11月	令和3年度
6	神奈川大学	まち×学生プロジェクト	「キャンドルナイト」 大学生と地域団体が牛乳パックを加工して制作したキャンドルフォルダーにあかりを灯す地域交流イベント	六角橋地域ケアプラザ、六角橋自治連合会、六角橋商店街連合会、神奈川区役所、神奈川区社会福祉協議会ほか	令和3年11月	平成28年度
7	神奈川大学	生涯学習・エクステンション講座の実施	地域社会の防災まちづくりに貢献している市民防災の活動グループ「防災塾・だるま」との共同企画により、「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」を実施	防災塾・だるま	令和3年9～10月(全3回)	平成17年度
8	神奈川大学	リカレント教育の推進に関すること	一般社団法人横浜みなとみらい21との包括連携協定に基づき、神奈川大学が展開する「生涯学習・エクステンション講座」と、一般社団法人横浜みなとみらい21が展開する「みなとみらいかもめSCHOOL」が連携し、それぞれの事業の独自性を維持しながらMM地区内の就業者等をはじめとした社会人等向けの共同教育講座を開始	一般社団法人横浜みなとみらい21	令和3年10月～3月(全7講座)	令和3年度
9	神奈川大学	授業支援等のボランティア	教職課程を履修している学生(2～4年次生)が、横浜市内の小・中学校においてAT(アシスタント・ティーチャー)、別室登校学習支援・特別支援サポート・部活動の指導補助、宿泊行事の補助、外国籍児童・生徒のサポート等のボランティア活動を実施(地域の教育への貢献、学生の学びの場の拡大を目的とする)	横浜市内の小・中学校	通年	平成11年度
10	神奈川大学	KMプロジェクト	2005年度から松本中学校が本学との連携を謳ってすすめてきた「バイオニアスクールよこはま」(事業主:横浜市教育委員会)の事業において、教職課程を履修している学生が、神奈川大学キャンパスツアー等の取組にボランティアとして関わっている。2008年度は「総合的な学習の時間」に学生が加わる等、地元の中学生と大学生が相互に理解を深め、地域の結びつきに貢献することを目的に実施	横浜市立松本中学校(神奈川区)	通年	平成17年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
11	神奈川大学	かながわユースフォーラム開催	ボランティアに興味がある学生を対象にオンラインによるフォーラムを開催約140名の高校生・大学生等が参加(また本フォーラムは横浜市神奈川区の「かながわ地域支援補助金」(2020～2022年)の支援事業に採択)	横浜市、神奈川区、社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会、横浜市六角橋地域ケアプラザ、NPO法人アクションポート	令和3年6月	令和2年度
12	神奈川大学	地元商店街との連携	男子サッカー部による地元商店街の毎週月曜朝の清掃活動参加	中山商店街	清掃活動のみ実施 毎週月曜日	平成18年度
13	神奈川大学	竹山プロジェクト	男子サッカー部による竹山団地近隣の地域活動への参加	竹山連合自治会	竹山団地防災訓練 令和3年4月、8月、11月 竹山自治会館清掃 令和3年5月 竹山花火会 令和3年9月 竹山池の環境整備 令和3年6月 竹山団地草抜き 令和3年5月 竹山文化祭 令和3年10月 竹山団地周辺の落ち葉拾い 令和3年12月 竹山スマホ教室 第1、第3金曜日	令和2年度
14	神奈川大学	大会運営への学生派遣	男子サッカー部による大会運営補助 Jリーグチャンピオンと天皇杯チャンピオンが戦う日最高峰の大会である富士フィルムスーパーカップのオープニングイベントを担当	神奈川県サッカー協会	令和4年2月	令和2年度
15	神奈川大学	令和3年度かながわ区民まつりへの参加	神奈川区主催のオンラインイベントに宇宙ロケット部、まち×学生プロジェクトが参加 区内で活動する団体の魅力を発信する動画を作成して投稿	神奈川区	令和3年12月	令和3年度
16	神奈川大学	地域防災拠点開設訓練への参加	「大規模地震発生時の減災応援協力に関する覚書」に基づき、斎藤分小学校の地域防災拠点開設訓練に参加	中丸町内会、六角橋南町内会、斎藤分南部町内会、神奈川区、神奈川消防署ほか	令和3年12月	平成26年度
17	神奈川大学	地元商店街との連携	六角橋商店街連合会兼六角橋商和会会長による学生向けの講演会を開催 経済学部ゼミナールによる六角橋商店街の調査研究を実施	六角橋商店街	令和3年10月～令和4年2月	令和3年度
18	神奈川大学	日本文化体験(風呂敷包み、能・狂言など)	「神奈川大学日本語・日本文化プログラム」に参加の外国人留学生が風呂敷包み、能・狂言について学び、体験。KSGG (Kanagawa Systematized Goodwill Guide)及び横浜能楽堂と連携して実施	KSGG (Kanagawa Systematized Goodwill Guide)及び横浜能楽堂	令和4年2月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
19	神奈川大学	対日理解促進交流プログラム「カケハン・プロジェクト」の実施	<p>日本政府が推進する国際交流事業で、日本と世界の様々な地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣する人的交流を通じて、対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本について被招へい者・被派遣者自らが発信することで対外発信を強化し、日本の外交基盤を強化することを目的としている</p> <p>カケハン・プロジェクトは、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米を対象とした交流事業</p> <p>令和4年3月時点では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う渡航制限のため、渡航前にオンライン形式での「プレプログラム」を実施しており、令和4年3月に本学、横浜市、日本文化の紹介を兼ねた学生間交流プログラム(オンライン)を、本学学生とIUC学生、北米からの招待学生を対象に実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外務省</li> <li>・アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター(IUC)</li> <li>・横浜市国際局国際協力課</li> <li>・日本国際協力センター(JICE)</li> </ul>	令和4年3月	令和3年度
20	神奈川大学	本学と高等学校の高大連携協定	<p>高大連携協定に基づいた連携協力</p> <p>高大連携協議会を年2回開催</p>	<p>全42校</p> <p>横浜市立東高等学校 横浜市立みなと総合高等学校 横浜市立横浜商業高等学校 横浜市立横浜総合高等学校 神奈川県立旭高等学校 神奈川県立磯子工業高等学校 神奈川県立荏田高等学校 神奈川県立神奈川工業高等学校 神奈川県立神奈川総合高等学校 神奈川県立金井高等学校 神奈川県立金沢総合高等学校 神奈川県立岸根高等学校 神奈川県立霧が丘高等学校 神奈川県立港北高等学校 神奈川県立商工高等学校 神奈川県立城郷高等学校 神奈川県立新栄高等学校 神奈川県立鶴見高等学校 神奈川県立永谷高等学校 神奈川県立新羽高等学校 神奈川県立横浜水取沢高等学校 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 神奈川県立舞岡高等学校 神奈川県立横浜旭陵高等学校 神奈川県立横浜桜陽高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校 神奈川県立横浜修徳高等学校 神奈川県立横浜清陵高等学校 神奈川県立横浜南陵高等学校 神奈川県立横浜平沼高等学校 神奈川県立横浜明朋高等学校 神奈川県立横浜緑園高等学校 英理女子学院高等学校 神奈川大学附属高等学校 清新女子高等学校 捜真女学校高等学校部 東京横浜独逸学園 武相高等学校 横浜清風高等学校 横浜創学館高等学校 横浜中華学院 横浜隼人高等学校</p>	<p>通年</p> <p>協議会：令和3年6月、12月</p>	平成15年度
21	神奈川大学	大学体験(高大連携事業)	学部学科説明、特別講義、在学生講演、キャンパスツアー等の実施	神奈川県立鶴見高等学校	令和3年10月	平成25年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
22	神奈川大学	特別聴講学生の受入れ(高大連携事業)	14回の本学の授業聴講	神奈川県立神奈川総合高等学校	令和3年4月～7月	平成16年度
23	神奈川大学	出張講義講師派遣(高大連携事業)	本学専任教員による高等学校での模擬授業	神奈川県立新栄高等学校 神奈川県立横浜桜陽高等学校 英理女子学院高等学校 横濱中華學院 神奈川大学附属中高等学校	令和3年6月～11月	平成16年度
24	神奈川大学	第15回高大連携協議会フォーラム(高大連携事業)	高大連携・高大接続に係るシンポジウムを開催。 テーマ:「持続可能な未来に向けて-SDGs教育の在り方-」	神奈川大学附属中・高等学校	令和3年12月	平成18年度
25	神奈川大学	一般社団法人横浜みなとみらい21との包括連携協定	両法人の特色を生かしたパートナーシップを深め、さらなる相乗効果を生む各種事業を展開 次世代人材の育成やMM地区の街づくりに資する各種取り組みにて連携 主の連携事業は下記のとおり (1) 教育全般に係る支援・協力に関する事 (2) 共同研究等の充実に係る支援・協力に関する事 (3) 街づくり活性化に係る支援・協力に関する事 (4) イノベーションのまちづくりの推進に関する事 (5) リカレント教育の推進に関する事 (6) MICE事業の推進・協力に関する事	一般社団法人横浜みなとみらい21	通年	令和3年度
26	神奈川大学	横浜プラットフォーム	横浜におけるイノベーション・エコシステム形成に向けた取り組み ギャップファンド運営、起業活動拠点構築、アクセラビジョンの実施、YOXOカレッジの設置に伴う新事業創造をチャレンジする人達を支援するプログラム、講座等の構築が主な取り組み ※科学技術振興機構(JST)におけるSCORE事業採択により実施  本学としては、ギャップファンドの申請、テックハブ構築としてファブラボみなとみらいの機能充実、ラボ利用促進のためのデジタルものづくりワークショップの実施	一般社団法人横浜みなとみらい21 関東学院大学 横浜国立大学 横浜市立大学	通年	令和3年度
27	神奈川大学	横浜未来機構 正会員加入	横浜におけるイノベーション・エコシステム形成に向けた取り組みを継続的に行うべく、正会員として加入	一般社団法人横浜みなとみらい21	通年	令和3年度
28	神奈川大学	神奈川大学観光プラットフォーム	観光に関する環境、経済及び社会的課題の解決に取り組むプラットフォームを構築 長期プロジェクト: 観光関連データを活用した横浜の現状分析・未来予測、ソリューション開発プロジェクト 短期プロジェクト: プロモーション・プロジェクト ※その他定期研究会を実施	長期プロジェクト: 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、Avintonジャパン株式会社 短期プロジェクト: 公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー ※定期研究会は、プラットフォーム参画企業にて任意参加	通年	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
29	神奈川大学	一般社団法人横浜港振興協会と神奈川大学との包括連携協定	一般社団法人横浜港振興協会と神奈川大学が相互に協力し、緊密な連携を図り、持続可能な横浜港の構築に向け、お互いが抱える諸課題の解決に共同で取り組み、ミナト町ヨコハマの更なる発展に寄与するとともに、「港湾の実業」を通して次世代人材を育成することを目的とした協定。予定する主な取り組みは以下のとおり (1) 海とみなどに関わる教育全般についての支援・協力に関すること (2) 大さん橋国際客船ターミナル等、港湾施設等を活用した観光振興、賑わい創出に関わる支援・協力に関すること (3) 海洋環境調査・研究等の充実に関わる支援・協力に関すること (4) 大学生の就職支援とキャリア形成の推進に関すること (5) その他本協定の目的を達成するために両団体が必要と認めたこと	一般社団法人横浜港振興協会	通年	令和3年度
30	神奈川大学	パラリンピック聖火フェスティバル	パラリンピック聖火イベントに向け、本学学生がパラリンピックに向けたメッセージをキャンドルホルダーに込め、イベント当日のキャンドルナイトが実施	神奈川県スポーツ局オリンピック・パラリンピック課	令和3年8月	令和3年度
31	神奈川大学	フードドライブ事業普及に向けた取り組み	神奈川県が推進する「かながわSDGsアクション」の一環として行われているフードドライブ事業について実施事業者への取材を本学学生が実施 神奈川県運営のWEB掲載に向けた記事作成も併せて実施	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室	令和3年11月	令和3年度
32	神奈川大学	「SDGsユーモアイラスト展」の実施	国連WFP協会主催のSDGsユーモアイラスト展を本学みなとみらいキャンパスソーシャルコモンズ1Fで開催	国連WFP協会	令和4年1月～2月	令和3年度
33	神奈川大学	神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する県内企業、大学が参画するビジネスプランコンテスト 2021年度はオンラインを主に開催され、本学は8チームが参加	一般社団法人神奈川経済同友会	令和3年2月～12月	平成16年度
34	神奈川大学	おいしいかながわプロジェクト	神奈川の食課題解決を目的としたプロジェクトを発足 学生が神奈川県内の食事業者の課題解決の取組を行うとともに、県内食事業者の取材、オリジナルサイトでの発信、マルシェ等を通じた魅力発信	株式会社神奈川新聞社 045total design works Inc	令和3年7月～	令和3年度
35	神奈川大学	神奈川大学オリジナル横濱スカーフ製作・販売	横浜繊維振興協会協力のもと、神奈川大学オリジナル横濱スカーフを制作、本学関連事業会社にて販売	横浜繊維振興会	令和3年7月～12月	令和3年度
36	神奈川大学	資生堂S/PARK集客をテーマとしたPBL・資生堂研究員との連携によるワークショップ・講演の実施	みなとみらいに位置する資生堂S/PARKとの連携により、同施設集客をテーマとした学生のPBLを実施。また、同社研究員と本学学生とのアイデア創出ワークショップの実施。同社研究員による本学正課授業における講演実施	資生堂S/PARK	令和3年7月～12月	令和3年度
37	神奈川大学	横浜繊維振興会特別講義「シルク産業の歴史」	本学国際日本学部の正課授業において、横浜繊維振興協会会長による特別講義を実施	横浜繊維振興会	令和3年10月	令和3年度
38	神奈川大学	横浜港見学会振興協会発行季刊誌「よこはま港」掲載企画における本学学生による横浜市長インタビュー	横浜港見学会振興協会発行季刊誌「よこはま港」掲載企画において、本学学生が横浜市長にインタビューを実施	一般社団法人横浜港振興協会	令和3年12月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
39	神奈川大学	一般社団法人横浜港振興協会との包括連携協定締結	横浜港のシンボルでもある大さん橋国際客船ターミナルなど港湾施設を活用した観光振興、賑わいの創出、海洋産業や横浜港の歴史、まちづくりなどに関わる研究促進、港に関心を持つ人材養成などの連携・協力事項に両者間で取り組む包括連携協定を締結	一般社団法人横浜港振興協会	令和4年1月	令和3年度
40	神奈川大学	SDGsアクション「生理の貧困」への対応	神奈川大学各キャンパス(横浜・平塚・みなとみらい)にて、賛同企業のメッセージ等を掲載した生理用ナプキン9,600枚(4,800セット)を、12月20日(月)より無料配布開始	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室	令和3年12月	令和3年度
41	神奈川大学	SDGsアクションフォーラムへの学生のビデオ出演「生理の貧困」	神奈川県SDGsアクションフォーラム内企画として生理の貧困に関する取り組みについての学生インタビューを実施	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室	令和4年3月	令和3年度
42	神奈川大学	SDGsアクション「留学生対象有償インターンシップ」の実施	留学生を対象とした有償型インターンシップのプログラムを神奈川県、企業等と連携して実施。留学生向け合同企業説明会の会場として、本学みなとみらいキャンパスを提供	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室	令和3年12月	令和3年度
43	神奈川大学	神奈川大学SDGsアワードの開催	本学学部生・大学院生を対象にSDGsに関連した研究・取り組みや、SDGsの課題解決に役立つアイデア等、「学生によるSDGsの取り組み」を発表するポスターを募集 横浜市内企業協賛を受け実施	一般社団法人横浜みなとみらい21 神奈川新聞社 ウエイズグループ 神奈川県民共済生活協同組合 株式会社横浜銀行 株式会社横浜ランドインターコンチネンタルホテル リコージャパン株式会社	令和4年3月	令和3年度
44	神奈川大学	実証実験「Community Door」への参画、実施	神奈川県が実施する事業「ビジネスアクセラレーターかながわの支援プログラム「BAK NEW NORMAL PROJECT 2021」にて採択された株式会社qutoriと富士フイルムビジネスイノベーション株式会社が連携して行う実証実験「気軽に相談できる遠隔コミュニティプースの開発」に、本学がパートナーとして参画 コロナ禍で交流が希薄となった学生に対し、個室型ワークブースを通じて遠隔でコミュニティマネージメントが提供されることで、失われた交流及び相談機会を創出し自己実現への行動変容を促せるかどうかを検証	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、qutori株式会社	令和3年12月～令和4年1月	令和3年度
45	関東学院大学	ボランティアコーディネート	大学生を対象としたボランティア活動のコーディネート	県内各社会福祉協議会、金沢区内地域ケアプラザ、神奈川県内福祉施設・事業所	通年	平成24年度
46	関東学院大学	寄付つき自動販売機プロジェクト	小学生を対象に、地域の助けあいをテーマに学習会を行い、デザインやメッセージを考え、それらをもとにラッピングした自動販売機による飲み物の販売。売上げから寄付	釜利谷西小学校(当時)、神奈川県協働募金会、サントリー	通年	平成28年度
47	関東学院大学	関ヶ谷地域連携会議	関ヶ谷地域の課題解決に向けた情報交換 なお、感染症対策として対面ではなく電磁的方法によって協議を実施	関ヶ谷自治会、横浜市立義務教育学校 西金沢学園	令和3年6月、令和4年2月	平成27年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
48	関東学院大学	ボランティア実践講座(オンライン)	横浜市立大学ボランティア支援室・金沢区社会福祉協議会・金沢区内地域ケアプラザと連携して、学生向けボランティア実践講座を開催	横浜市立大学ボランティア支援室 金沢区社会福祉協議会 金沢区内地域ケアプラザ(9か所)	令和3年6月	令和2年度 (初年度は新型コロナウイルス感染症のため中止)
49	関東学院大学	高齢者福祉施設入居者とのオンライン交流会	介護付き有料老人ホーム入居者と学生がオンラインで交流会	ヒルデモア三溪園 東京海上日動ベターライフサービス(株)	令和3年7月、10月、11月	令和3年度
50	関東学院大学	RUN伴+三浦半島金沢区実行委員会	認知症啓発のためのたすきリレーRUN伴+を金沢区で開催すべく、有志学生がRUN伴+三浦半島実行委員、金沢区役所、金沢区社協、地域ケアプラザと連携して活動。新型コロナウイルス感染症対策として、ランナーを一人にする等工夫して実施	金沢区役所、金沢区社会福祉協議会、金沢区内地域ケアプラザ、RUN伴+三浦半島実行委員	令和3年11月	令和元年度
51	関東学院大学	神奈川県社会福祉協議会見学会	神奈川県社会福祉協議会について社協職員からの講話、移転した神奈川県社会福祉センターの見学会	神奈川県社会福祉協議会 神奈川県共同募金会	令和3年11月	令和3年度
52	関東学院大学	認知症サポーター養成講座の開催	認知症サポーター養成講座を実施 43名のサポーターを養成	西金沢地域ケアプラザ、釜利谷地域ケアプラザ、金沢区役所	令和3年12月	平成27年度
53	関東学院大学	地域連携交流会	横浜市立義務教育学校西金沢学園で地域連携交流会を開催 小山ゼミナール生が小学部5年生に対し、フードロスに係る現状と課題・取組を発表、ワークショップを実施	横浜市立義務教育学校西金沢学園	令和4年3月	令和3年度
54	関東学院大学	第5回 K-bizアクティブ・チャレンジ	横浜中華街の発展に向けたファン拡大の方法を学生の目線から企画・提案。コンペを開催し、プランの内容によっては、実際に実施を検討	横浜中華街発展会協同組合 三菱UFJ銀行	令和3年7月～令和4年2月	令和3年度
55	関東学院大学	K-biz advance	株式会社京急アドエンタープライズより依頼を受け、新型コロナウイルス感染症の打撃を受けた三浦市の再来顧客獲得に向け、インスタグラム等を活用し、学生の若者のリアルな目線で三浦市の今あるコンテンツに価値を付加し、再来顧客獲得を目標とする取組	株式会社京急アドエンタープライズ	令和3年7月～令和4年2月	令和3年度
56	関東学院大学	「古着が語る、世界のつながり」古着回収	大量廃棄問題についてのゼミナール活動の学びを糧に、右記団体と協力をし、古着回収を本学内で実施	特定非営利活動法人WE21ジャパングループ	令和3年4月～8月	令和3年度
57	関東学院大学	法学部自治体等インターンシップ	関東学院大学又は同法学部と連携協定を締結している自治体・企業等その他機関等との協力関係の下、インターン学生が、受入先の自治体等のいずれかの部署(部・課等)に配属され、実習。業務の紹介・見学等のみならず体験型学習(ジョブシャドウ含む)を実施	金沢警察署、金沢消防署	令和3年11月、12月	平成30年度
58	関東学院大学	神奈川県内工業高校・大学連携推進協議会	神奈川県内の工業高校及び理工系分野をもつ6大学が連携し、工業を学ぶ高校生のための大学講座、進学セミナー、シンポジウムを実施	神奈川県内工業高校及び同県内5大学	令和4年2月	平成16年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
59	関東学院大学	シルクファッションショー	横浜スカーフのPRなどを目的としたファッションショー	シルク博物館	令和3年12月	平成25年度
60	関東学院大学	(株)ユニオン産業(日吉工場)	日吉工場で微粉化した廃竹と廃プラを混合した再生材料を用いた食器や自動車部品の研究開発	(株)ユニオン産業本社(川崎市)、森川真彦社長	通年	平成27年度
61	関東学院大学	湘南ありへいとう+関東学院大学プロジェクト パッケージデザイン企画とその商品化	本学、機能性食品科学研究所が特許取得した角田教授開発による大豆粉「ミラクルきなこ」を含んだ有平糖のパッケージ・デザインについて、本学、社会連携センターを通じて本ゼミにより企画尚、デザインしたコラボ製品を(有)リキコーポレーションが今後販売予定	有限会社 リキ・コーポレーション	令和4年3月～	令和3年度
62	関東学院大学	金沢区市民団体シニアネットワーク主催	金沢区地域ケアプラザに赴きフレイル対策を実施、食支援を実施した。今年度はフレイル健診を栄養学部内に赴き実施	金沢区市民団体シニアネットワーク主催	令和3年6月～	平成30年度
63	関東学院大学	金沢区三師会嚥下在宅医療チーム	金沢区三師会において、金沢区の在宅療養者で嚥下障害患者に対しチームを作り在宅医療を実施	金沢区三師会	通年	平成30年度
64	関東学院大学	朝カフェ	時短朝食の企画及び周知	横浜市健康福祉局 カルビー株式会社	令和3年11月	平成30年度
65	関東学院大学	広報よこはま・なか区版への防災コラム掲載	広報よこはま・なか区版に防災コラムに下記テーマを掲載 「ローリングストックに関すること、災害時に役立つ防災レシピの紹介」	中区総務課防災担当	令和3年9月	令和3年度
66	関東学院大学	横浜金沢産業連絡協議会との産学連携推進に関する協定	令和3年度通常総会並びに優良工業従事者等表彰式への出席	(一社)横浜金沢産業連絡協議会	令和3年6月	平成21年度
67	関東学院大学	連続公開講座「関内学」	関内エリアの文化やまちづくりを次世代に継承することを目的とした連続公開講座「関内学」を開講	馬車道商店街協同組合、株式会社ホテルニューグランド	令和3年12月、令和4年3月	令和元年度
68	関東学院大学	YOXOカレッジキックオフイベント	横浜のイノベーターを支援するプラットフォームのキックオフイベントを実施	一般社団法人横浜みなとみらい21、 神奈川大学、横浜国立大学、横浜市立大学	令和3年11月	令和3年度
69	関東学院大学	食支援企画	学生への食支援企画の実施	一般社団法人伊丹エール財団	令和3年6月、8月、9月	令和3年度
70	関東学院大学	職域接種運営スタッフの募集	LINKAI横浜金沢を対象とする職域接種運営スタッフの募集	NPO法人Aozora Factory 一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会	令和3年9月、10月	令和3年度
71	関東学院大学	ものづくり体験キットのデザイン	自宅でのものづくり体験ができるキットのデザイン考案・制作協力	NPO法人Aozora Factory 横浜市工業技術支援センター	令和3年4月～12月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
72	関東学院大学	横浜マリノス株式会社による本学サッカー部へのコーチ派遣	横浜マリノス株式会社から本学サッカー部へヘッドコーチ1名、コーチ1名を派遣し、サッカー部の強化を推進	横浜マリノス株式会社	通年	平成23年度
73	慶應義塾大学	網島SST	網島SST(Tsunashimaサステナブル・スマートタウン)は、工場跡地等の企業不動産を活用した次世代都市型のスマートシティ。慶應義塾は網島SST内に2018年、町の環境や安心・安全に配慮した自炊式の混住型国際学生寮を開設しTSSTタウンまちづくり運営協議会にアドバイザーとして参加し、関係企業や地域住民との交流や協力の可能性を検討	横浜市 他	令和3年12月 (小型EVシェアリング実証サービス)	平成30年度
74	慶應義塾大学	郊外まち住環境センシングプロジェクトに参加	世界6都市で進められる国際プロジェクト「可動型ネクサス: デザイン先導型都市食料・水・エネルギー管理のイノベーション(M-NEX)」の一環として、「東急電鉄」横浜市「たまプラーザ駅」のWiseLivingLabで、環境センサーを設置。環境情報のリアルタイムモニタリングと、GISでの見える化を実施	アドソル日進株式会社	令和3年度	平成29年度
75	慶應義塾大学	慶應義塾大学SFC研究所に産学連携コンソーシアム 量子インターネットタスクフォース(QITF)を共同設立	SFC研究所に、「量子インターネットタスクフォース(Quantum Internet Task Force, 以下QITF)」を、産学連携コンソーシアムとして設立。QITFが目指すのは、量子インターネット領域における日本中の研究者・開発者を組成して研究開発に取り組み、量子インターネットの実現と標準化、そして社会へのコミットメント	大阪大学、沖縄科学技術大学院大学、株式会社メルカリ、国際基督教大学、国立情報学研究所、情報通信研究機構、東京大学、日本大学、横浜国立大学、早稲田大学	令和3年度	令和元年度
76	慶應義塾大学	桜スポーツフェスタ	下田体育会5部(野球部、サッカー部、蹴球部、ホッケー部、ソフトテニス部)を中心に「地域交流」と「港北区下田5部のつながり」を大きな目的としたお祭り	桜スポーツフェスタ実行委員会	令和4年3月	平成20年度
77	慶應義塾大学	難治性乳がん・膵がんに有効な革新的核酸医薬候補の開発に成功	乳がん、膵がんが発現が亢進している転写因子であるPRDM14遺伝子を標的とした配列特異性の高いキメラ型siRNAと核酸を病変に送達するY-shaped block co-polymer(YBC)からなる核酸医薬候補を開発。乳がん、膵がんを模した動物モデルに本核酸医薬候補を静注投与したところ、腫瘍径の増大を抑制した。また、遠隔転移モデルにおいても、転移巣の減少、生存期間の延長を確認。本研究の成果は、2021年4月13日公開のInternational Journal of Cancer誌にオンライン掲載。また、本研究の成果を受けて2020年9月より本核酸医薬候補の医師主導型治験を開始	東京大学医科学研究所、公益財団法人 川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター、神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	令和3年4月	令和3年度
78	慶應義塾大学	北東アジアの言語族間の遺伝的および文化的多様性の相関関係を解明—文法が遺伝的歴史の指標である可能性を示唆— 文化的な関係と遺伝的な関係の違い明確に—	北東アジアとその周辺地域にまたがる11の言語族の関係性について、言語(文法、音韻、語彙)、音楽、ゲノムの5要素からその相関を検証した結果、文法と遺伝的な歴史の間で統計的に有意に相関していることを解明	東海大学、横浜市立大学	令和3年8月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
79	慶應義塾大学	神経再生促進物質LOTUSの遺伝子導入により脊髄損傷に対するヒトiPS細胞由来神経幹細胞移植治療の効果を改善	慶應義塾大学と横浜市立大学との共同研究により、神経の再生を促進するNogo受容体-1 (NgR1) アンタゴニストLOTUSをヒト iPS 細胞から樹立した神経幹/前駆細胞に遺伝子導入することで、脊髄損傷に対する移植細胞による運動機能回復効果が向上することを発見	横浜市立大学	令和3年10月	令和3年度
80	慶應義塾大学	人工次元フォトニクスの実証ー新しい光物理のオンチップ搭載ー	「人工次元」と呼ばれる周波数列のユニークな光学現象を、世界標準的な光集積プラットフォーム「シリコンフォトニクス」を用いて初めて実証することに成功 これは人工次元を用いたトポロジカル現象実現への第一歩となり、トポロジカルフォトニクスが単なる物理学的な研究から、様々な光部品に応用される新しい要素となり得ることを示唆	横浜国立大学、東北大学、東京大学	令和4年1月	令和3年度
81	慶應義塾大学	令和3年度「港北地域学」講座 第3回「慶應義塾と日吉」への講師派遣	1858年江戸築地に誕生した慶應義塾が1934年日吉にキャンパスを構えた背景や、激動の昭和の時代に翻弄され今なお近現代史をありありと映し出している現在の日吉キャンパスの姿 この講義では、キャンパス開設の背景と、キャンパスがたどった悲運の歴史とその痕跡をご紹介します	港北区区民活動支援センター	令和4年2月	令和3年度
82	昭和大学	スポーツ指導者向け講習会への講師派遣	横浜市スポーツ協会が開催している「スポーツ人材育成・指導者向けの講習会」に大学より講師を派遣	横浜市スポーツ協会	令和4年2月	令和3年度
83	昭和大学	こどもホスピス・小児緩和ケア人材育成プログラム研修会	小児緩和ケアを勉強しませんか？ 「病児の気持ちと教育」	認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト	令和3年5月 令和4年3月	平成28年度
84	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	鶴見区医師会主催研修会「摂食嚥下リハビリテーション」	鶴見区医師会が主催する在宅医療に関わる医師・看護師・介護支援専門員等を対象とした摂食嚥下リハビリテーションの全3回コース研修会	鶴見区医師会 在宅部門	令和3年6月、8月、10月	平成29年度
85	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	横浜市健康福祉局障害施設サービス課主催研修「摂食嚥下巡回相談研修」	横浜市健康福祉局障害施設サービス課が主催する、障害者施設に対する巡回相談研修事業（例年は施設に直接訪問して、障害児者の摂食嚥下に関わる相談や指導を実施しているが、令和3年度はコロナ禍にてオンライン研修に切り替え）	横浜市健康福祉局障害施設サービス課	令和4年2月～3月（オンライン）	平成27年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
86	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	(株)大塚製薬工場主催オンライン研修会「口から食べるための口腔管理 ～多職種連携の口腔ケア～」	(株)大塚製薬工場が主催するオンライン研修会(全4回)	株式会社大塚製薬工場株式会社 (横浜営業所)	令和3年3月、6月、9月、12月	令和3年度
87	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	横浜市社会福祉協議会 ウィリング横浜主催研修「専門力を高める No.24」「口から食べる事を支援しよう」	横浜市社会福祉協議会(ウィリング横浜)主催の福祉保健施設・事業所従事者向けの研修会	横浜市社会福祉協議会 福祉保健研修交流センターウィリング横浜	令和3年8月	平成25年度
88	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会主催の研修会「摂食嚥下機能の基礎知識と対応方法」	かながわ福祉サービス振興会主催の医療・介護スタッフ向け研修会	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会	令和3年12月	平成27年度
89	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	株式会社サカタのタネと学校法人総持学園鶴見大学短期大学部とのアクティブラーニング	神奈川県政策局政策部NPO協働推進課が実施する「パートナーシップ支援事業」を経て、鶴見大学短期大学部と株式会社サカタのタネが締結したアクティブラーニングに関する協定のもと、専攻科保育専攻の「保育環境論」の授業内で、サカタのタネの専門家の方の栽培に関する講義や園芸指導、助言をいただきながら実践する学生の野菜栽培体験学習	株式会社サカタのタネ	令和3年9月～11月(月に1回)	平成28年度
90	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	「ゲル・ソル法を用いたオリガノシロキサン結合液の用途開発」(共同研究名)	石や紙などの文化財の保存材料について新たな技術を取り入れて開発している	株式会社超越化研	令和3年4月～令和4年3月	令和2年度
91	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	鶴見大学杯少年野球大会	例年、鶴見区から後援をもらい、鶴見大学杯として少年野球大会を開催しており、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、開会式のみ中止 また、今回が第10回目の記念大会となるため、新たに優勝旗作成等行った	鶴見区・YOUTV・神奈川新聞社・タウンニュース	令和3年10月～12月	平成24年度
92	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	よこはま商店街映像祭	よこはま商店街映像祭は横浜市内の商店街プロモーション映像を地域の青少年が作成することで、コロナ禍で厳しい状況にある児童と商店街の新たなつながりを作ることを目的に開催 鶴見大学からは学生3名が豊岡商店街協力のもと作成したプロモーション動画で参加し入賞	NPO法人ちいき未来・鶴見区豊岡商店街	令和3年10月～令和4年1月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
93	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	横浜インターンシップ制度	文学部2・3年生を対象に、横浜商工会議所経由でインターンシップを実施 対面、オンライン、ハイブリッドと様々な開催方法で学生の就業体験を行っている	横浜商工会議所 民間企業	令和3年8月～9月	平成16年度
94	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	横浜市幼稚園協会・横浜市保育園こども園園長会合同就職ガイダンス	保育科2年生を対象に、幼稚園、保育園、こども園の良さを現役の幼稚園教諭、保育士の方からお話を頂く機会となっている。本学教員協力のもと、対面で実施	横浜市幼稚園協会 横浜市保育園こども園園長会	令和3年6月	平成25年度
95	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	学内合同企業説明会	文学部3年生を主な対象とし、市内企業を含む100社を招いた合同企業説明会を実施 企業の概要や仕事の内容などについて人事担当者から直接話を聞くオンラインにて開催	民間企業	令和3年5月、7月、8月、9月、 令和4年2月、3月	平成12年度
96	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	鶴見区災害医療連絡会議 鶴見区災害医療訓練	災害医療等に関する意見交換や情報共有、災害時医療体制の構築に向けた検討等を行う会議の委員として、鶴見大学公共医科学研究センター長が参加 また、区内医療機関・関係団体等が連携して行う災害医療訓練に同大学として参加	鶴見区福祉保健課	令和4年3月 鶴見区災害医療訓練	平成26年度
97	桐蔭横浜大学	あざみ野商店会「認知症にやさしい街プロジェクト」	あざみ野商店会と包括連携を締結後、同プロジェクトでの地域住民対象のアンケート調査の設計・実施、集計結果の発表などを行った。また、「認知症サポーター養成ステップアップ講座」をオンラインで実施 「多世代交流ウォーキングサッカー」、「あざみ野ゴミ拾いウォーキング」位にも参加	あざみ野商店会	令和3年6月	令和3年度
98	東京芸術大学大学院映像研究科	馬車道まつり「トワイライトコンサート 東京藝大ウィンドオーケストラ」	本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催	主催：東京芸術大学、 馬車道商店街協同組合、 横浜市文化観光局、 関内ホール管理運営共同事業体	令和3年11月	平成20年度
99	東京芸術大学大学院映像研究科	馬車道コンサート	歴史的建造物である馬車道校舎(旧富士銀行横浜支店)において、本学音楽学部教員と学生による、室内楽中心のコンサートを実施	主催： 東京芸術大学大学院映像研究科、 横浜市文化観光局、 関内ホール管理運営共同事業体	令和3年11月～12月	平成18年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
100	東京芸術大学大学院 映像研究科	受託事業「Marine and Walkにおける映像展示事業」	横浜みなとみらい21新港地区に立地するオープンモール「MARINE & WALK YOKOHAMA」において、プロジェクションマッピングによるディスプレイを実施	株式会社グリーンルーム	令和3年6月～令和4年3月	平成28年度
101	東京芸術大学大学院 映像研究科	馬車道プロジェクション	映像研究科修士学生の制作したアニメーションを、神奈川県立歴史博物館の協力を得て馬車道口の壁面に投影した。アニメーションは投影壁面の窓や装飾に合わせて制作しており、普段とは違う壁面の見え方を楽しむ内容 投影は映像研究科3Fの窓から実施	主催：東京芸術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局 協力：神奈川県立歴史博物館 協力：神奈川県立歴史博物館、馬車道商店街協同組合  創造的イルミネーション パートナーシップ事業	令和3年11月	平成28年度
102	東京芸術大学大学院 映像研究科	「創造的イルミネーション事業」映像コンテンツ制作事業	yorunoyo × SAMPO_MAPPにおける、映像コンテンツの制作	クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会	令和3年11月～12月	令和元年度
103	東京芸術大学大学院 映像研究科	「時計の住人」プロジェクションマッピング事業	国立病院機構 横浜医療センターのロビーにプロジェクション・マッピングによる癒しの空間を演出	独立行政法人 国立病院機構横浜医療センター	令和3年4月～令和4年3月	令和元年度
104	東京芸術大学大学院 映像研究科	Health Mock Lab.	2019年08月09日、ゲーミフィケーションを用いた新たなデジタルヘルスケアソリューション創出・実用化を目指し、3者間の産学連携のバーチャルな枠組みとして「Health Mock Lab.」を発足させた。これをベースに、ゲームの知見を医療に生かす共同研究を実施	公立大学法人横浜市立大学・アステラス製薬株式会社（市外）	令和3年4月～令和4年3月	令和元年度
105	東京工業大学	生命理工学院との連携	木原財団が生命理工オープンイノベーションハブ(LiHub)活動に参加し、生命理工学院教員と企業との協業を促進。生命理工学院が木原財団BVA会員となり、木原財団マッチングイベントには生命理工学院教員及びLiHubが参加	公益財団法人 木原財団	令和3年4月～令和4年3月	令和元年度
106	東京工業大学	スポーツを通じた健康増進	スポーツセンターに通う市民の健康増進を、推進体メンバーの有する技術による支援	緑スポーツセンター	令和3年6月～	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
107	東京工業大学	ケアテック・オープン・ラボ 横浜臨時会議	ケアテック・オープン・ラボのメンバーと推進体との連携によるサーキュラーエコノミーplusの実現	(株)ウエルモ、(株)ツクイ、富士ソフト(株)	令和3年8月～	令和3年度
108	東京工業大学	戸塚リビングラボ定期連絡会議	災害時の地域課題解決、などの戸塚リビングラボが取り組む課題に関する検討会議への継続的参加	戸塚リビングラボ	令和3年8月～	令和3年度
109	東京工業大学	リビングラボ連絡会議	各地のリビングラボの連携のための連絡会議への参加	リビングラボ連絡会議	令和3年9月～	令和3年度
110	東京工業大学	介護デジタルハッカソン	ハッカソンの審査員	一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス	令和3年9月	令和3年度
111	東京工業大学	ワークショップ	リビングラボが主催するワークショップへの参加	みどり中山リビングラボ	令和3年10月	令和3年度
112	東京工業大学	未来型セルフヘルスコンディショニング法の開発	市民のヘルスケアに関するセンターの関心事の、ステークホルダーとの協業による技術開発による解決	横浜市スポーツ医科学センター	令和3年11月～	令和3年度
113	東京工業大学	データレイクシステムの開発	セルフヘルスケアを支援するAI開発のためのデータを集積・統合するためのデータレイクの共同開発	富士ソフト(株)	令和3年11月～	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
114	東京工業大学	第九回LiHubフォーラム	「高齢者が孤立せずに見守られながら幸せに暮らす地域社会の実現」に関するセッションの共同開催	富士ソフト(株)	令和3年11月	令和3年度
115	東京工業大学	一人暮らしの高齢者の地域コミュニティによる見守りと暮らしの支援	竹山団地の独り暮らしの高齢者の、地域コミュニティとの連携による見守りと暮らしの支援に関する協業	竹山病院、竹山団地自治会	令和3年11月～	令和3年度
116	東京工業大学	第122回神奈川大学産学交流フロンティアサロン	今後の神奈川大学との連携を念頭にしたフロンティアサロンへの参加	神奈川大学	令和3年12月	令和3年度
117	東京工業大学	みどり中山リビングラボ定期連絡会議	みどり中山リビングラボが取り組む課題に関する検討会議への継続的参加	みどり中山リビングラボ	令和3年12月～	令和3年度
118	東京工業大学	公開オンラインフォーラム「横浜のリビングラボが創る持続可能な未来」	今後の横浜の各リビングラボとの共創を構想するためのフォーラムへの参加	横浜リビングラボ連絡会議	令和3年12月	令和3年度
119	東京工業大学	#おたがいハマトーク vol.150「自治体DXで実現する未来のヘルスケア」	登壇:「データを持ち寄り共有することによる真に幸せな健康長寿社会の実現」	一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス	令和4年1月	令和3年度
120	東京工業大学	共同研究および成果の発表	共同で研究を行った成果を、「コンフォーカル光学系による全固体電池のOperando観察」のタイトルで、第62回電池討論会にて連名で発表した(2021年11月30日)	レーザーテック株式会社	令和3年4月～令和4年3月	平成29年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
121	東京工業大学	企業のサービス創出プロセスにおけるリビングラボ導入に関する研究	リビングラボが企業に対し提供する価値に関する共同研究契約を締結し、価値を最大化するための手法等について検討	NTTテクノクロス株式会社 戦略ビジネス特区 ころを動かすICTデザイン室	令和3年8月～	令和3年度
122	東京都市大学	元町百段公園における、バラ類の無農薬・無化学肥料栽培の維持管理と勉強会の開催	元町百段公園において、毎週末、生物多様性に配慮したバラ類の植栽管理を、環境学部田中研究室の学生が、中区民の会や横浜バラ会の方たちと合同で行っている。また、山手での月1回開催されているバラの勉強会において、年数回、学生や教員が発表や講義を行っている	元町百段公園愛護会 中土木事務所	令和3年4月～令和4年3月	平成30年度
123	東京都市大学	横浜まちづくり学生会議	横浜市内の大学で学生主導で街づくりの実践を行う	横浜市内の大学	令和4年3月 (金沢区西柴地区との連携)	平成27年度
124	東京都市大学	つづきジュニア編集局	地域の小学生から高校生までを対象としたメディア活動の共同運営(NPO法人ミニシティプラスとの協働)(活動自体は都筑区制15周年事業としてスタート)	つづきジュニア編集局	通年	平成21年度
125	東京都市大学	つづきアーカイブクラブ	横浜市都筑区の地域アーカイブ活動団体(有志団体)の支援(ウェブページ管理、オンライン会合サポートなど)	つづきアーカイブクラブ	通年	平成23年度
126	東洋英和女学院大学	近隣中学高等学校校長との懇談会	大学近隣にある中学校(県立、横浜市立、私立)の校長先生をお呼びして(令和2,3年度はzoom)、本学学長、学部長、教職課程担当教員が参加して中学・高等学校教員の育成についての意見交換を行う	霧が丘学園義務教育学校	令和3年12月	平成21年度
127	日本体育大学	地元団体イベントの学生への周知	イベント「フードサポートあおば」の学生への周知	(福)横浜市青葉区社会福祉協議会	令和3年5月、11月、 令和4年2月	令和3年度
128	日本体育大学	地元団体講習会へ教員及び学生派遣	心肺蘇生法講習会の講師及び講習会補助	NPO法人放課後キャビン(奈良の丘キッズクラブ)	令和3年6月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
129	日本体育大学	地元商店会の環境整備活動への参加	青葉台商店会周辺の清掃活動及び花植え(フラワーロード活動)	青葉台商店会	令和3年6月、11月	令和2年度
130	日本体育大学	地元小学校宿泊体験学習引率	「愛川体験学習」補助のため学生を派遣	横浜市立瀬谷小学校	令和3年12月	令和元年度
131	日本体育大学	地元小学校校外学習引率	「磯の生き物観察」活動補助のため学生を派遣	横浜市立下永谷小学校	令和3年7月	令和3年度
132	日本体育大学	地元団体小学生向けスポーツ体験教室指導	小学生向けスポーツ体験教室(バドミントン)における指導のため学生を派遣	(公社)横浜市民施設協会 若草台地区センター	令和3年8月	令和3年度
133	日本体育大学	地元団体サマーキャンプ支援及びスポーツ指導	サマーキャンプボランティア及びスポーツ指導のため学生を派遣	(公財)横浜YMCA 横浜中央YMCAウエルネススポーツクラブ	令和3年8月	令和3年度
134	日本体育大学	地元団体講習会へ教員及び学生派遣	心肺蘇生法講習会、防災に関する講座の講師及び講習会補助	(福)ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和3年10月、12月	令和2年度
135	日本体育大学	地元中学校宿泊行事引率	宿泊行事における車椅子生徒の介助として学生を派遣	横浜市立寛政中学校	令和3年10月	令和3年度
136	日本体育大学	地元団体施設借用及び参加者募集周知依頼	本学公開講座「地域のみならずワイワイ楽しく」の開催場所として施設を借用及び参加募集周知依頼	神奈川県立あおば支援学校(11月)、 (福)横浜市福祉サービス協会 (公財)横浜市スポーツ協会 横浜市緑スポーツセンター(12月)、 横浜市立鴨志田緑小学校(1月)	令和3年11月、12月、 令和4年1月	令和3年度
137	日本体育大学	地元団体行事支援	行事「ポッチャ体験会」運営スタッフ補助として学生を派遣	(福)ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	令和3年11月	令和3年度
138	日本体育大学	地元団体へ施設開放	青葉区少年野球連盟秋季大会決勝戦・オールスター戦のため本学横浜・健志台キャンパス野球場を開放	青葉区少年野球連盟	令和3年11月	令和3年度
139	日本体育大学	地元団体行事支援	行事「クリスマス会」運営スタッフ補助として学生を派遣	(一社)横浜市青葉区医師会	令和3年12月	令和3年度
140	日本体育大学	地元団体へ施設開放及び本学テニス部員との交流	鴨志田テニス同好会テニス対抗戦のため本学横浜・健志台キャンパステニスコートを開放し、テニス部員と交流	鴨志田西テニス同好会	令和3年12月	不明

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
141	日本体育大学	地元企業からの箱根駅伝応援	横断幕の受贈、学内掲出	青葉台東急スクエア	令和3年12月	令和元年度
142	日本体育大学	地元自治体、行政との防災訓練	本学横浜・健志台キャンパスで行う地域・行政と連携した実践的な防災訓練	鴨志田町内会、鴨志田緑自治会、グリーンヒル鴨志田東団地自治会、グリーンヒル鴨志田西団地自治会、横浜市鴨志田住宅自治会、寺家町内会 青葉区役所、横浜市青葉消防署、青葉警察署、東急バス(株)、イツ・コミュニケーションズ(株)	令和4年1月	平成24年度
143	日本体育大学	地元団体講習会へ学生派遣	わんぱくホリデー事業「ダブルダッチ講習会」 デモンストレーション及び体験指導	(公社)横浜市民施設協会 山内地区センター	令和4年2月	令和3年度
144	日本体育大学	地元団体事業支援	放課後支援プログラム「鴨 Jr. English」 小学生向け英語レッスンの指導・運営補助として学生を派遣	(福)ふじ寿か会 横浜市鴨志田地域ケアプラザ	通年	令和2年度
145	日本体育大学	地元小学校学習支援	授業補助、見守りとして学生を派遣	横浜市立東市ヶ尾小学校	通年	令和2年度
146	日本体育大学	地元中学校部活動指導	中学校男子テニス部コーチとして学生を派遣	山手学院中学校・高等学校	通年	令和3年度
147	日本体育大学	地元団体事業支援	運営スタッフとして学生を派遣	NPO法人放課後キャビン(奈良の丘 キッズクラブ)	通年	令和3年度
148	フェリス女学院大学	日本語の個人指導など	正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている	NPO法人留学生と語り合う会	通年	平成17年度
149	フェリス女学院大学	「緑園都市駅音環境デザインプロジェクト」における産学連携	緑園都市駅の構内の音環境の整備の一環として、電車到着サイン音「アンダンテ」を開発	相模鉄道株式会社、相鉄ホールディングス株式会社	通年	平成28年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
150	フェリス女学院大学	国際機関実務体験プログラム	横浜市内の国際機関での100時間の実務体験ボランティアの場を学生に提供	公益財団法人横浜市国際交流協会	通年	平成17年度
151	フェリス女学院大学	寿町支援プロジェクト	寿町支援の取り組み	横浜市ことぶき協働スペース NPO法人コミュニティデザインラボ	通年	令和3年度
152	フェリス女学院大学	緑園東小学校ふれあい学習サポート	小学校で子どもたちの学習をサポートする活動	緑園東小学校	通年	平成16年度
153	フェリス女学院大学	まちづくりプロジェクト	住みやすいまちづくりのための課題解決に向けた取り組み	NPO法人コミュニティデザインラボ NPO法人横浜 NGOネットワーク 野毛坂グローバル	通年	令和2年度
154	放送大学神奈川学習センター	連携公開講演会	11月に横浜国立大学教授 物部博文先生を講師とした公開講演会「ストレスと心の健康」を、3月に横浜国立大学名誉教授 茂木一衛先生を講師とした公開講演会「音楽と物語」を横浜市大岡地区センターを会場として共同で開催	横浜市大岡地区センター	令和3年11月、令和4年3月	令和元年度
155	明治学院大学	ヤギ除草システム	エコキャンパスと称する本学横浜キャンパスの除草のためヤギを導入	(有)アルファグリーン	令和3年6月～11月	平成25年度
156	明治学院大学	戸塚まつり	「環境」「国際」「福祉」を共通テーマとして、地域・学生・教職員が一体となり開催する学園祭にて、コロナ禍でも学生が分散して地域へ繋がっていきける環境を作ることを目的として「地域お出かけ企画」を実施  戸塚区役所にて認定している「とつかおいしいものブランド」の店舗や戸塚modi食料品売り場に協力いただき、本学学生が対象店舗で買い物することで、景品を獲得できる企画を行った	戸塚区役所 近親自治会 戸塚modi	令和3年5月	平成10年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
157	明治学院大学	上倉田キャンドルナイト	<p>コロナ禍で希薄になってしまった地域・学校・施設の様々なつながり・連携を改めて結ぶことを目的として、各団体にて協力して作成したキャンドルホルダーを展示するイベント</p> <p>倉田小学校で児童がキャンドルホルダーを作成する現場に、本学学生・職員を派遣し、作成補助を行った(令和4年1月)</p> <p>現時点では感染状況を鑑みて展示イベントの日程については未定となっている</p>	<p>倉田小学校 戸塚スポーツセンター 倉田コミュニティハウス 上倉田地域ケアプラザ 上倉田地区連合会 上倉田地区社会福祉協議会 上倉田地区民生委員児童委員 YMCAワークサポートセンター アンジュ とつかわかば こども家庭支援センター くらき</p>	令和4年1月	令和3年度
158	明治学院大学	柏尾川魅力づくりフォーラム	<p>戸塚区の柏尾川の清掃活動等を行ってきたボランティア団体・企業・学校が相互連携・交流を図るための活動。きれいな安らぎのある柏尾川をめざし、清掃イベントを行う傍ら、2009年より柏尾川にかかる桜橋に、こいのぼりを設置している</p> <p>本年度については、会議への参加と、学生がこいのぼりづくりを行った</p>	<p>戸塚桜セーバー (株)信友建設 (株)プリヂストン横浜工場 東日本旅客鉄道株式会社戸塚駅 戸塚スポーツセンター など</p>	令和4年1月	平成20年度
159	明治学院大学	戸塚宿場まつり	<p>例年、旧東海道「戸塚宿」と戸塚の街の魅力を伝える展示や体験、講演会などが行われている</p> <p>本学からも、連携以来、子ども向けブースの出展などで協働してきたが、本年度については、新型コロナウイルスの影響で、パネル展示のみの開催となり、本学を紹介するパネル展示の作成と、当日のパネル展のスタッフとしての参加を行った</p>	<p>戸塚見知楽会 戸塚歴史の会 戸塚スポーツセンター とつか区民活動センター など</p>	令和3年10月	平成27年度
160	八洲学園大学	キャリア支援講座の開催	卒業生・修了(終了)生を対象としたキャリア支援講座を開催	神奈川キャリア形成サポートセンター	令和4年2月	令和3年度
161	横浜国立大学	地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりPJ」	NPOがどのような活動を行い、社会に影響を与えているか、今後のNPOの在り方について学習するために、NPOインターンシップ事業に学生が参画	NPO法人アクションポート横浜ほか	通年	平成20年度
162	横浜国立大学	地域課題実習「ハマの屋台PJ」	まちのにぎわいを生み出すツールとして、移動式屋台を提案し、大学周辺の常盤台地区、相鉄線南万騎が原駅周辺、関内周辺を活動エリアとして、屋台を使ったまちづくりプロジェクトを実施。学生が製作した移動式の「ほどわごん」を用いて地域のイベント等に参加したり、地域への貸出を実施	常盤台地区連合町内会、みなまきラボ、ゆたかなイばしょ運営委員会ほか	通年	平成25年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
163	横浜国立大学	地域課題実習「New New Town プロジェクト」	オールドタウン化しつつある郊外のベッドタウンを、豊かなニュータウンに再編することを目標に、まちづくり拠点「みなまきラボ」と協働し、商店街の活性化を目指したイベント等を実施	万騎が原中央商店街ほか	通年	平成29年度
164	横浜国立大学	地域課題実習「ワダゴコ」	和田町に住む多世代の人達と学生が活発に交流し、互いに支えあう地域づくりを目指し、イベントを企画・実施	和田西部町内会、和田町商店街組合	通年	平成22年度
165	横浜国立大学	地域課題実習「サコラボ」	左近山団地を拠点に、住民と協働し若者ならではの視点で地域活動を行い、地域のステークホルダーと協力しながら、教育／福祉／防災にまつわるイベントの企画／提案／運営を実施	NPO法人オールささこんやまほか	通年	令和3年度
166	横浜国立大学	地域課題実習「コットンおとなりさんプロジェクト」	コットンハーバー地区をフィールドに、どの世代も交流できるコミュニティづくりを目指し活動。CCT(コットンコミュニティタウン)、各自治会と協力し、各種イベントを企画・開催	CCT(コットン・コミュニティ・タウン)、コットンハーバー地区各自治会ほか	通年	令和2年度
167	横浜国立大学	地域課題実習「南米につながる子どもたちの横浜「共生」プロジェクト」	横浜市域で生活している外国につながる、あるいは障がいのある子供たち、脆弱な状況にある子供たちの生活の質の向上を目的とし、就学支援等を実施	保土ヶ谷区社会福祉協議会、県営笹山団地自治会ほか	通年	令和2年度
168	横浜国立大学	地域課題実習「アグリッジプロジェクト」	農業による地域活性化の実践を行うプロジェクト 大学周辺の農家の協力を得て野菜を栽培し、地域で直売を実施 また自分たちで育てた野菜を弁当の食材にしてみらい、学内販売を実施	常盤台コミュニティハウス、常盤台地区連合町内会ほか	通年	平成29年度
169	横浜国立大学	Next Urban Lab事業「常盤台まちづくり応援団」	常盤台地域ケアプラザ・コミュニティハウスの建築を契機に地域の老後も住み続けられるまちづくりの実現を目的に2008年に発足。自主的に地域の住民に呼びかけて「常盤台地域ケアプラザを契機とした老後も住み続けられるまちづくりワークショップ」を開始したワークショップの蓄積から機運が高まり、バリアフリー基本構想の住民提案、まちづくりプラン作成に向けての住民活動組織としての「羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会」に結びついた推進会では具体的なサインのデザインや内容の絞り込みや確定、試作などによる支援を実施	常盤台連合町内会、羽沢(南部、第一、星ヶ丘)町会ほか	通年	平成20年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
170	横浜市立大学	共同研究「商業施設におけるデリバリー、テイクアウトにおける行動分析」	フードデリバリー・テイクアウトから生じる購買データを活用した共同研究を実施し、事業検討会をワークショップ形式で実施	スカイファーム株式会社	令和3年10月～令和4年3月	令和2年度
171	横浜市立大学	スタートアップ成長支援拠点YOXO BOX オンラインイベント	事業検討のためのデータ利活用型ワークショップに関する講演とパネル討論	三菱地所株式会社	令和4年3月	令和3年度
172	横浜市立大学	横浜市立大学サマーデザインワークショップ2022	オンラインデジタルデザインワークショップを複数企業と開催	株式会社JTB総合研究所、株式会社マイナビ、一般社団法人世界メッシュ研究所、株式会社丹青社	令和3年5月～令和4年9月	令和3年度
173	横浜市立大学	データサイエンス学部・データサイエンス専攻主催就職活動支援イベント	データサイエンス学部3年生、データサイエンス専攻修士1年生を対象に、データサイエンス人材に特化した複数企業の合同企業説明会を実施	株式会社横浜銀行、株式会社クボタ、日産自動車株式会社、日本電気株式会社など民間企業	令和4年2月～3月	令和2年度
174	横浜市立大学	施設設計に関するアドバイス・サポート	モックアップ検討会の実施、事例検討会の実施	認定NPO法人横浜こどもホスピス「うみとそらのおうち」	令和3年4月～令和4年3月	平成27年度
175	横浜市立大学	生活支援・医療情報等の連携のサポート	横浜市心身障害児・者を守る会 生活支援・医療情報等の連携のサポート	横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～	令和3年4月～令和4年3月	平成27年度
176	横浜市立大学	横浜をつなげる30人	様々なセクターの若手メンバー30人による、対話型・継続型・実践型のまちづくりプロジェクト	横浜市経済局、横浜市内企業(多数)	令和3年10月～令和4年3月	令和2年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
177	横浜市立大学	YOXOカレッジ	横浜の4大学と企業・行政が協力して誕生したオンライン中心のイノベーター育成プラットフォーム	横浜未来機構	令和3年10月～令和4年3月	令和3年度
178	横浜市立大学	総合講義「企業家に学ぶ」	授業内ゲスト講演	アベルザ(石原社長) 日本発条(玉村名誉会長) 京浜急行(原田社長)	令和3年6月～7月	令和3年度
179	横浜市立大学	共同研究	技術商社の顧客満足度指標の開発	アベルザ	令和3年6月～令和4年3月	令和3年度
180	横浜市立大学	寄附講座	特講(寄附講座:環境経営の最先端:グリーン購入が開く環境都市)	横浜グリーン購入ネットワーク	令和3年9月～令和4年3月	平成26年度
181	横浜市立大学	総合講義	総合講義(連携特別講座「国際協力の実践と課題」)	JICA横浜	令和3年9月～令和4年3月	平成18年度
182	横浜市立大学	さいわい鶴見病院の訪問見学、課題解決プロジェクト	横浜市鶴見区のさいわい鶴見病院への訪問見学、経営課題に対する解決策をゼミ生が立案・発表	さいわい鶴見病院	令和3年10月～令和4年2月	令和3年度
183	横浜市立大学	大学生による地元地区センター等施設の自主事業への参加【共同研究】	ゼミ生による地元地区センター等施設の自主事業の企画提案(eスポーツ、フラダンス体験)と運営補助	金沢区民協働支援協会(柳町コミュニティハウス/金沢地区センター)	令和3年12月～2月【全4回】	令和2年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
184	横浜市立大学	ブランド価値共創プロジェクトの実施	社内ヒアリング調査、来店客への定性調査および定量調査の実施、一般消費者を対象とした「魚食・買い物・調理に関する定量調査」の実施、ブランド戦略の策定と提案、Instagramの運営、顧客の声を反映したテイクアウト弁当「ハーフ&ハーフ丼(2種)」の開発と販売、WEBサイトの提案、水産エコラベル「マリン・エコラベル(MEL)認証」の情報発信	株式会社横浜食品サービス 株式会社横濱屋本舗	令和3年5月～令和4年3月	令和2年度
185	横浜市立大学	SDGs貢献活動の策定・実施	社内ヒアリング調査、一般消費者を対象とした「SDGsに関する定量調査」の実施、食品ロス削減対策として「おから」を活用した商品開発の提案、「おからジェラート」の試作および試食調査(社内、石田牧場)、業務用冷凍豆腐の端材を活用した一般消費者向け冷凍豆腐「ソイフ」の開発と販売	株式会社横浜食品サービス および、横浜食品サービスグループ (株式会社横濱屋本舗、株式会社ソイフ)	令和3年5月～令和4年3月	令和2年度
186	横浜市立大学	SDGsに資するお弁当開発・販売	体にも環境にも優しい「おさかなお弁当」(5種)の共同開発および販売(ヨーク)	株式会社ヨーク 株式会社横浜食品サービス	令和3年8月～継続中	令和3年度
187	横浜市立大学	「ヨコイチ×横浜中華街プロジェクト」の実施	「横浜中華街のファンづくり」に向けたプロジェクトの立案・運営、学生44名によるフィールドワーク、横浜中華街発展会協同組合と学生の座談会(7回)、横浜中華街発展会協同組合理事長 高橋伸昌氏(株式会社江戸清代表取締役)による講演会、「1Day ワークショップ」の実施	横浜中華街発展会協同組合	令和3年8月～令和4年3月	令和3年度
188	横浜市立大学	横浜商店街フォーラムの企画	横浜商工会議所が主催する「横浜商店街フォーラム」の企画立案(実施は令和4年4月)	横浜商工会議所	令和3年7月～継続中	令和3年度
189	横浜市立大学	国際商学部専門科目「企画立案型実習A(神奈川産学)」において「ポスター制作を通じてマーケティング、ブランディングを学ぶ」をテーマに実習を実施	2021年6月17日(木)～6月23日(水)の1週間集中講義において、マーケティング、ブランディング、プロモーションに関する講義、およびブランディングのためのポスター制作のレクチャー・実習を実施。受講者30名(2年生)5グループが、①企業ブランディングポスター、②食堂メニューポスターを制作(全てオンライン)。ポスターは実際に横濱屋本舗の店舗、食堂で掲出中	横浜生活者総合研究所(はま研) (株式会社横浜メディアアド)	令和3年6月～8月	令和2年度
190	横浜市立大学	理化学研究所・横浜市立大学一般公開	研究者による講演会や、最先端の研究を支える施設見学ツアーをはじめ、子ども向け実験教室、セミナー、ビデオ上映などの様々な催しを実施 令和3年度は昨年に引き続きオンライン開催となり、ライブ配信やオンライン実験教室等を合同で開催した また、市内の小中高校生を中心に理科分野に関する研究動画を投稿していただく大学独自のコンテストを開催した	理化学研究所横浜キャンパス	令和3年10月	平成14年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
191	横浜市立大学	地元食堂へ食材提供	地元の食堂が企画した8月の期間限定メニューへの食材提供	TSUBAKI食堂	令和3年8月	令和3年度
192	横浜市立大学	冷熱需要量予測と最適運転計画立案	地域冷暖房事業に関する過去の需要量、温度、湿度などのデータや、冷房のための熱源機器の運転データなど様々なデータに基づいて、最適運転システムの構築に向けた熱需要予測などを研究	みなとみらい21熱供給(株)	令和3年4月～令和4年2月	令和2年度
193	横浜市立大学	【教員地域貢献活動支援事業】病院組織の中での対話を支援するファシリテーターの育成	横浜市内にある病院との連携により、病院において成員の個々の潜在能力を引き出し、お互いの協働意欲を高めるための対話型組織開発における「対話」を支援するファシリテーターの育成方法を明らかにする	長津田厚生総合病院	令和3年6月～令和4年3月	令和3年度
194	横浜市立大学	【教員地域貢献活動支援事業】IoT地震動計測センサネットワークの構築—実証実験とデータ利活用に関する研究—	技術を活用し地域課題の発見、解決する活動を行うCode for YOKOHAMA と協力し、高密度IoT 地震動計測センサネットワーク構築のための実証実験を通して、都市防災に必要なデータインフラの整備及び観測データを活用した市民の地震・防災減災リテラシーの向上を目指す	Code for Yokohama	令和3年6月～令和4年3月	令和3年度
195	横浜市立大学	【教員地域貢献活動支援事業】都市部海域でのアマモ場再生を目指した生物学的研究	横浜金沢湾では市民活動によるアマモ場再生が進められているが、2019年以降再生されたアマモ場が衰退している。そこで、環境モニタリングやアマモの生物学的研究を行い、都市部海域でのアマモ場の回復技術につなげる	金沢八景-東京湾アマモ場再生会議	令和3年6月～令和4年3月	令和3年度
196	横浜市立大学	ボランティア支援室学生スタッフVolunchによる、各地域との連携した取り組み(ボランティアツアー、講演会、子ども食堂見学会等の実施)	(1)ボランティアツアーの実施…ボランティアを始めるきっかけ作りとして、Volunchと在学生が、市内で実施するボランティアに参加した令和3年度は、「あおぞらリレーマラソン」に28名参加、「フードバンクかながわ」に13名が参加した (2)国際関係講演会…国際関係に関心のある学生に向けてVolunchが講師を迎え、オンラインによる講演会を実施 国連WFP講演会は30名が参加 (3)金沢区社会福祉協議会協力のもと、区内の子ども食堂の見学およびボランティア活動を実施	(1)あおぞらマラソン実行委員会、公益社団法人フードバンクかながわ (2)NPO法人国連WFP協会、トレポル NIHONGO教室 (3)社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会、金沢子ども食堂すくすく、ココ食堂、みちくさCC	(1)令和3年6月、8月 (2)令和3年8月、令和4年3月	平成29年度
197	横浜市立大学	大学生への「食の支援」	新型コロナウイルス等の影響により、厳しい状況である学生に向けた食品配付を実施 横浜市内外の団体・企業と連携し全6回実施。のべ923人が受け取った	公益社団法人フードバンクかながわ、株式会社オーパースーズ、特定非営利活動法人セカンドリーグ 神奈川、有限会社ジータ 社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会	令和3年7月、8月、9月、11月、12月、令和4年2月	令和2年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
198	横浜市立大学	循環型食の協働プロジェクト(食のサイクル活動)	「食の支援」以外でもフードバンクかながわ等からロス品の提供を受け、全学生(各キャンパス)・教職員へロス食品の配付を行い、SDGs12の課題解決に貢献することを目標とした取り組み。また、フードバンクかながわへのボランティア学生派遣や、学生団体(Volunch、Table for Tow)がフードドライブを実施し、集まった食品はフードバンクかながわへ寄附するなど、循環型の支援に取り組んでいる	公益社団法人フードバンクかながわ、株式会社StockBase	令和3年4月から10回以上不定期で実施	令和3年度
199	横浜市立大学	学生による病院ボランティアの取り組み事業	横浜市立大学附属市民総合医療センターと連携し、新型コロナウイルス等の影響を受けている入院患者および医療従事者のために、学生が出来ることを意見交換し、病院ボランティアグループを発足センター病院の入院患者に折り紙キットを配付し作品を収集集まった作品を撮影し、フォトモザイクアートを制作する	横浜市立大学附属市民総合医療センター	令和3年4月～	令和2年度
200	横浜市立大学	ボランティア実践講座	初めてボランティアに参加する在学生向けに、座学・実践・振り返りの3Step方式のボランティア講座を行った 学生には区内地域ケアプラザの福祉関係を中心としたボランティアに参加してもらい、継続的な活動に繋げることを目的とした事業	社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会 金沢区地域ケアプラザ(8か所) 関東学院大学	令和3年6月～9月	平成28年度
201	横浜市立大学	世界トライアスロンシリーズ横浜大会	在学生が世界トライアスロンシリーズ横浜大会のエイジグループ(一般)のボランティアに参加	世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会事務局	令和3年5月	平成28年度
202	横浜市立大学	幻の杉田梅林復興・杉田梅まつり	(1)オンライン配信補助と会場設営 前日準備・当日・片づけを実施 (2)茶道部が、妙法寺の牛頭山頂と境内に設置する茶室(2畳)で、オンライン配信による茶道のデモンストレーションを行った。	杉田梅まつり実行委員会(合同会社横浜旬・菜・果)	令和4年2月	令和3年度
203	横浜市立大学	公益財団法人よこはまユース連携取り組み	(1)本学が実施した学習支援説明会に、団体が主催する学習支援(かもん未来塾)のスタッフの方に参加いただき、学生ボランティア派遣を実施 (2)かもん未来塾の児童とスタッフが来校し、食堂や構内を案内 (3)団体が主催する、小学生と関わる「出張型体験プログラム」に本学の部活動が参加。第1弾としてかもん未来塾にて科学実験工作を実施(子のほかに希望団体を募集し、令和4年5月ごろまで継続予定)	公益財団法人よこはまユース	(1)令和3年5月 (2)令和3年12月 (3)令和4年1月～継続中	令和3年度
204	横浜市立大学	ひとり親家庭の高校生対象「高等教育進学に向けた無料英語教室」	コロナ禍で親の収入が減るなどして塾に通えない横浜市内のひとり親家庭の高校生の学習支援として、横浜市社会福祉協議会と横浜信用金庫が主催で開始 講師のサポートとして本学学生のボランティア派遣を実施	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 横浜信用金庫	令和4年3月～継続中	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度実施年月	連携取組開始年度
205	横浜市立大学	医学部「YDC」(学生団体)による児童への医療教育訪問授業	「市民の方への正しい医療知識の提供」を目標とし、「小・中学生向けの訪問授業」「イベント企画」を主な活動としている横浜市立大学医学部の学生団体 2010年に発足し、現在部員は医学科看護科合わせて約70名 「キャリア教育」「医学教育」「保健・体育」「体験型授業」の4つを柱とし、それらを組み合わせながら授業を行っている 令和3年は、学校法人GODAIが運営するアフタースクール「G-kidz」で、小学生38名に向けて2年ぶりに訪問授業を行った	G-kidz アフタースクール	令和3年8月	令和3年度
206	横浜市立大学	キャリア形成正課科目への登壇	ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラムの一環で、キャリア形成正課科目でのゲスト講演と学生成果発表の評価を依頼 ※科目名：キャリア形成実習(横浜の産業と企業理解)	ヨコハマSDGsデザインセンター	令和3年9月	令和2年度
207	横浜市立大学	対話型組織開発の手法を用いた中小規模病院の組織開発	横浜市内にある病院との連携により、病院において成員の個々の潜在能力を引き出し、お互いの協働意欲を高めるための対話型組織開発における「対話」を支援するファシリテーターの育成	看護管理学分野 勝山貴美子 国際マネジメント研究科 吉永崇史	令和3年11月 対話とは？ 令和3年12月 ファシリテーション演習1 令和4年1月 ファシリテーション演習2 令和4年2月(コロナで中止) 職場開発のための対話1 令和4年3月(コロナで中止) 職場開発のための対話2	令和2年度
208	横浜市立大学	糖鎖・レクチン利用技術の開発	糖鎖結合性タンパク質「レクチン」を海洋動物から新たに発見し、その利用可能性を評価	株式会社グライコテクニカ	令和3年4月	令和3年度
209	横浜市立大学	国立研究開発法人科学技術振興機構研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム	JST社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)に採択され、市内大学発ベンチャー支援、イノベーション・エコシステム形成を実施	神奈川大学、関東学院大学、横浜国立大学、一般社団法人横浜みなとみらい21、横浜市	令和3年4月～令和4年3月	令和2年度
210	横浜市立大学	BioJapan2021	アジア最大のパートナーシップイベント「BioJapan2021」において「横浜・川崎パビリオン」でのポスター展示	横浜市(公財)木原記念横浜生命科学振興財団	令和3年10月	令和元年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
211	横浜市立大学	LIP.横浜 オープンイノベーションカンファレンスⅦ	異文化融合による技術革新やアライアンスの創出を図ることを目的とした産学連携マッチングイベントへの出展	横浜市 (公財)木原記念横浜生命科学振興財団	令和3年12月	平成29年度
212	横浜市立大学	京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区推進セミナー	ライフサイエンス領域のイノベーション創出に向けたセミナー「創薬・医療を支える IT 技術」で講演	神奈川県、横浜市、川崎市 (一社)ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)	令和4年1月	平成23年度
213	横浜市立大学	バイオベンチャーアライアンス「バイオインターフェース」	アーリーシーズを有するアカデミアの研究者やバイオベンチャーの経営者・技術者のネットワークイベント「BVA バイオインターフェース」に研究者が登壇	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団	令和4年3月	平成26年度
214	横浜市立大学	LIP.横浜 中小・ベンチャー企業等支援事業	健康・医療分野の市内中小・ベンチャー企業に対し、自社の技術や製品等について視覚的に分かりやすく伝える絵・図表(テクニカルイラストレーション)を作成し提供	横浜市 (公財)木原記念横浜生命科学振興財団	令和3年9月	令和元年度
215	横浜市立大学	市民の健康・ハピネスを意識したコミュニケーションを目指すプロジェクト	世界緑内障週間に合わせて、横浜市営地下鉄車内で緑内障啓発動画を放映するプロジェクトに参画	横浜市交通局 東京藝術大学 大学院映像研究科	令和4年2月	令和3年度
216	横浜創英大学	山百合会 職員のオンライン研修	研修に先立ち、安達理事長と面談を行い、「コロナ禍で保育者が疲弊しているため、それに対応できるような研修をしてほしい」という要望をききとった そのため、保育者がコロナ禍でできるような、ストレスコーピング等を交えた研修動画を作成して、送っている	山百合会	令和4年2月	令和3年度
217	横浜創英大学	上川井幼稚園交流会	園児(年長児)が園バスで大学に遊びに来て、本学2年生と交流会を行った。子ども理解を深めるという授業の一環で、学生が遊びを企画運営し(指導案作成)、保育の記録(ドキュメンテーション)を作成した。また、園児のお弁当時間に、園長先生・担任の先生から、学生たちが保育に関するお話を聞いた	上川井幼稚園	令和3年11月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
218	横浜創英大学	就園・就学準備講座	就園・就学を控える園児のいる家庭を対象にして、就園・就学に関連して不安に思うこと等を解消してもらい講座を大学にて開催した(就学準備講座講師:大内先生、就園淳義講座講師:長谷川先生)	地域住民	令和4年3月	令和3年度
219	横浜創英大学	園庭ピオトップ作り	プレスクール若葉幼稚園の園庭の環境整備の設計とお手伝い	プレスクール若葉幼稚園	令和3年8月、12月	令和3年度
220	横浜創英大学	看護の日	看護学部教員にて健康教育に関する動画を地域の住民向けに配信した	神奈川県看護協会	令和3年9月～10月配信期間	平成28年度
221	横浜創英大学	若手養護教諭のセミナー YYcafe	県内・市内の若手養護教諭を対象に、レジリエンス向上を目指すセミナーを4回シリーズで実施した	各学校養護教諭	令和4年2月～3月	令和3年度
222	横浜創英大学	平野ゼミ活動 霧が丘バザール	買い物支援活動	霧が丘バザール 実行委員会	令和3年5月	令和3年度
223	横浜創英大学	平野ゼミ活動 談和会	高齢者の交流サロン	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
224	横浜創英大学	平野ゼミ活動 配食活動	高齢者世帯等への昼食の配食	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
225	横浜創英大学	平野ゼミ活動 ひまわり教室	中途障害者のリハビリ教室	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
226	横浜創英大学	平野ゼミ活動 子育てサロン	親子のサロン	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
227	横浜創英大学	平野ゼミ活動 談和会	高齢者の交流サロン	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
228	横浜創英大学	平野ゼミ活動 配食活動	高齢者世帯等への昼食の配食	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
229	横浜創英大学	平野ゼミ活動 談和会	高齢者の交流サロン	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和3年5月	令和3年度
230	横浜創英大学	平野ゼミ活動 霧サポ手芸班	地域の方々の手芸を通じたボランティア活動	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和4年1月	令和3年度
231	横浜創英大学	平野ゼミ活動 プレイパークでの自然遊び	プレイパークでの自然遊び	若葉台プレイパーク活動運営委員会	令和4年2月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
232	横浜創英大学	平野ゼミ活動 ひまわり教室	中途障害者のリハビリ教室	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和4年1月	令和3年度
233	横浜創英大学	旭区地域活動交流コーディネーター福祉 教育研修会	交流コーディネーター福祉教育研修会	旭区地域活動交流コーディネーター連 絡会	令和4年1月	令和3年度
234	横浜創英大学	平野ゼミ活動 子育てサロン	親子のサロン	霧が丘地区 社会福祉協議会	令和4年2月	令和3年度
235	横浜創英大学	平野ゼミ活動 子ども食堂	子ども食堂(たんぼぼ)	若葉台地区民生委員児童委員協議 会	令和4年2月	令和3年度
236	横浜美術大学	青葉郵便局 壁画アート制作	青葉台郵便局をリノベーションし地域交流拠点として開業 開業に向けて壁画アートを制作	東急(株)	令和3年4月	令和2年度
237	横浜美術大学	三越伊勢丹横浜店「FOOD&ART」作 品展示	店舗フードコート内に学生の作品展示	(株)三越伊勢丹	令和3年4月	令和2年度
238	横浜美術大学	三井アウトレットパーク横浜ベイサイド 1周年記念ロゴマークデザイン制作	三井アウトレットパーク横浜ベイサイドの1周年記念ロゴマークを学生より 公募 告知制作物に掲出	(株)エクスプレス	令和3年4月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
239	横浜美術大学	SPRAS青葉台オープニングイベント登壇	SPRAS青葉台オープニングイベントに際しトークイベントのゲスト参加 作品展示	(株)はじまり商店街	令和3年7月	令和3年度
240	横浜美術大学	三越伊勢丹大船店オープン 「FOOD&ART」in大船 作品展示	店舗フードコート内に学生の作品展示 横浜店「FOOD&ART」イベントにて展示の作品を大船店にて展示	(株)三越伊勢丹	令和3年7月	令和3年度
241	横浜美術大学	第9回ガリバーはがき絵国際コンクール	「ガリバー旅行記」をテーマとした絵画作品または塗り絵の応募作品の選考	ガリバープロジェクト	令和3年9月	平成25年度
242	横浜美術大学	SPRAS青葉台「絵本で繋がる、アートの 心を育む。～読み聞かせとミニ絵本作り ～」ワークショップ開催	親子向けの絵本イベント	(株)はじまり商店街	令和3年10月	令和3年度
243	横浜美術大学	第22回未来に残そう青い海・海上保安 庁図画コンクールにおける作品審査、選考	全国の小中学生を対象とした図画コンクール応募作品の審査、選考	第三管区海上保安庁	令和3年10月	令和2年度
244	横浜美術大学	「青葉台東急スクエア」21周年アニバーサ リーキャンペーンキービジュアル制作	「青葉台東急スクエア」21周年アニバーサリーキャンペーンのキービジュアル制作	(株)東急モルズデベロップメント	令和3年11月	令和元年度
245	横浜美術大学	ギロヴェッツ「3つの弦楽四重奏作品42」 CDジャケット制作	CDジャケットデザイン制作	KOSSACK OMF レーベル	令和3年11月	令和3年度

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
246	横浜美術大学	鴨志田ヶアプラザ タペストリー展示	鴨志田ヶアプラザにおいて タペストリー展示	鴨志田ヶアプラザ	令和3年11月	令和3年度
247	横浜美術大学	くらら青葉台 作品展示	メディカルホームにおける 作品展示	ベネッセスタイルケア	令和3年11月	平成24年度
248	横浜美術大学	交通安全・詐欺対策標語ポスター審査	恩田地区内小中学校6校から応募した作品の中から優秀作品を選考	恩田連合自治会	令和4年1月	平成30年度
249	横浜美術大学	SPRAS青葉台 マルシェ出店	SPRAS青葉台ミニマルシェにて学生作品の販売	SPRAS青葉台	令和4年1月	令和3年度
250	横浜美術大学	SPRAS青葉台「ぼんぼんポコスのフラワーポット」ワークショップ開催	SPRAS青葉台ミニマルシェ内でワークショップ開催	SPRAS青葉台	令和4年1月	令和3年度
251	横浜美術大学	城南信金碑文谷支店壁画アート制作	城南信金碑文谷支店の外壁アートを卒業生が制作	城南信用金庫	令和4年3月	令和3年度
252	横浜美術大学	交通安全標語看板イラスト制作	青葉警察署前看板のイラストを学生が制作	青葉警察署 青葉交通安全協会 青葉安全運転管理者会 青葉青少年交通安全連絡協議会	令和4年3月	平成25年

■ 令和3年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

【調査表1】

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和3年度 実施年月	連携取組開始 年度
253	横浜美術大学	横浜市立金沢動物園「腕はめコアラ」設置	開園40周年記念企画 金沢動物園内にコアラと一緒に撮影ができる彫刻作品を展示	公益財団法人横浜市緑の協会	令和4年3月	令和3年度
254	横浜美術大学	横浜市立金沢動物園「腕はめコアラ」設置	開園40周年記念企画 金沢動物園内にコアラと一緒に撮影ができる彫刻作品を展示	公益財団法人横浜市緑の協会	令和4年3月	令和3年度
255	横浜美術大学	こども国際映画祭にてワークショップ開催	28th キネコ国際映画祭イベントスペースでのワークショップ開催	ウイングトゥワンダー事務局	令和4年3月	令和3年度
256	横浜薬科大学	第10回「薬物乱用防止キャンペーン」in横浜への協力(共催)	・薬物乱用防止教室の動画配信協力(教職員及び学生) ・FMヨコハマ番組特別コラボ企画へ出演(教員及び学生)	横浜市薬剤師会	令和3年12月～令和4年1月	平成24年度